

【第120号 二〇一四年 十二月 五日発行】

福音の園だより

平成十八年度、高齢者雇用優良事業所 協会会長賞「受賞」

TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350 0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049 230 1111(FAX)230 1112

福音の園® Gospelgarden®は有限会社シャロンの商標

「ご家族の声(お便り)」

あの笑顔が何よりの証し

いつもお世話になり、ありがとうございます。
この度は又、早速に母の九十三歳誕生日のお写真を
お送り下さり、ありがとうございます。母の最高
の笑顔に、見る度こちらも顔がほころびます。
イヤリング、ネックレスを付けて下さり、お化粧ま
でして下さったケアマナジャー様にもくれぐれも
「ありがとうございます」とお伝え下さい。また、
心尽くしのお料理、美味しい立派な
ケーキ、デザートを作って下さった
スタッフの方々にも宜しくお伝え下さい。
皆様のお陰で母も本当に幸せそうです。
あの笑顔が何よりの証しと思っております。
これからも何卒宜しくお願い申し上げます。S・K



手際の良い皆様の介助に感謝

昨日はお忙しい所、お伺い致しました。すみませ

ん。日々変わる母を介護して頂きありがとうございます。
ます。手際の良い皆様の介助、心遣い感謝していま
す。(中略)。お世話をお掛けします。宜しくお願い
致します。皆様どうぞご自愛下さいませ。T・S

成年後見人の声(お便り)

人生の終焉に際し、不安のない生活を

先日は、急な申し出にもかかわらず、お忙しいなか
お時間をいただきましたこと、お礼申し上げます。
また、『福音の園だより』、心温まる
お手紙をいただきましたこと、重ねて
お礼申し上げます。
私は縁あつて、昨年12月より
様の後見人となりました。私に川越市
内の情報が少ないこともあり、知り合つたかたがたに
支えられながら、様の後見業務を行っております。



祝 二〇一四年 クリスマス

『きょうタビデの町で、あなたがたのために、救い主
がお生まれになった。この方こそ主キリストです。』

新約聖書 ルカの福音書2章11節

ご本人の人生の終焉に際し、少しでも不安のない、
安心した生活を送っていただきたい。先日は、そんな
気持ちから再度のお願いにあがった次第です。(後略)。
様後見人 S・M

園芸療法・実習生の声(お便り)

私の発表の時、読みたいと思います

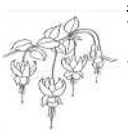
先日は、お忙しい所、実習をさせていただきまし
てありがとうございます。利用者の皆様のお顔が

穏やかで、明るく感じられましたのは、ホーム長様
はじめ、職員の皆様の愛のある努力と思えました。
実習の時 頂きました第102号 マザー・テレサ
の言葉『わかつてくれる人は幸いです』を何度も読
んでいます。実習レポートは5枚以上と発表です。
私の発表の時に読みたいと思っております。
レポート頑張ります。お体を大切に。 K・Y

祝 二〇一四年 クリスマスに寄せて

名訳『赤毛のアン』はこうして生まれた

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
NHKの朝ドラ『花子とアン』を観ながら、改めて
原作本『アン』のゆりかご村岡花子の生涯(新潮文庫・村
岡恵理著)を読み、主人公・花子の心の軌跡をたどった。
一人息子を、当時流行した疫痢えきりで発症後三日
ほどで失うシーンに心が痛んだ。花子は葬儀後、病氣
の妻と幼い子供を離れた夫と、彼らから夫を奪った
自らに対する制裁、むごい仕打ちだと神を
畏れながらも呪つた(第6章 悲しみを越えて)。
立ち上がる気力を無くし、悲嘆に打ちのめ
され、ただ虚無の中に泣き暮らすばかりだった。
絶望の底でふと心の耳に聞こえてきた言葉があった。
「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほど
に世を愛された。」(新約聖書 ヨハネの福音書3章16節)。



幼い頃から、数え切れないほど読みもし、聞きもした
言葉が、最愛の息子が帰らぬ人となつた今、初めて現
実味を持つて胸に迫ってきた。神は愛する独り子イエ
ス・キリストを救い主として人の世に送るほどに、人
を愛した。独り子を与えて惜しまない「愛」とは?
やがて、「啓示にも似た閉心らめきが走つた」(218頁)。
立ち直つて、家庭文学の翻訳と云う天職を見出した。

来訪歓迎

様 サービス外部評価機関